

# 不二

小学初級版 幼・1・2・3年生用



令和3年度第1回昇段試験課題発表



# がんじのひょうげん

こんがいのテーマは「燕」<sup>エンノフぼめ</sup>というかんじです。

春から初夏へと季節がうつりかわります。

四月に南の国からやって来た燕は、のぎさきでもつ子育てをしています。

(およそ二千三百年まえの字)



殷の甲骨文 (注)

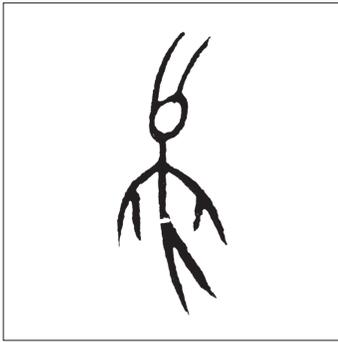
この字は大むかしの中国で使われていた「燕」という漢字です。

どのようにして生まれた漢字なのでしょうか??

「燕」は長いつばさを広げて飛ぶツバメの姿から生まれまじた。

甲骨文を見ると二つにわかれた尾やクチバシを開いている様子が想像できますね。

(およそ二千三百年まえの字)



殷の甲骨文 (注)

(およそ千九百年まえの字)



説文解字 (注)

「燕尾服」という洋服を知っていますか? 上着のおしりの部分、ツバメの尾のようにわかれています。  
入学式などで、校長先生が着ているかもしれませんよ。

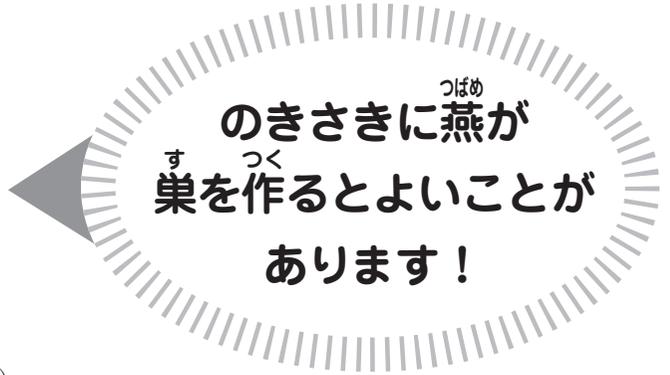
(注) 甲骨文: 占いの言葉が亀の甲羅や獣の骨に刻まれて残された中国最古の文字。  
説文解字: 後漢 (25年~220年) の時代に作られた中国最古の部首別漢字字典です。

いろいろな「燕」のひょうげんを見てください。

(およそ千四百年まえの字)



欧陽詢「皇甫誕碑」(唐の楷書)



のきさきに燕が  
すつく  
巢を作るとよいことが  
あります！



燕が低く  
と飛ぶと雨



(およそ千三百年まえの字)

光明皇后「楽毅論」(奈良時代の行書)

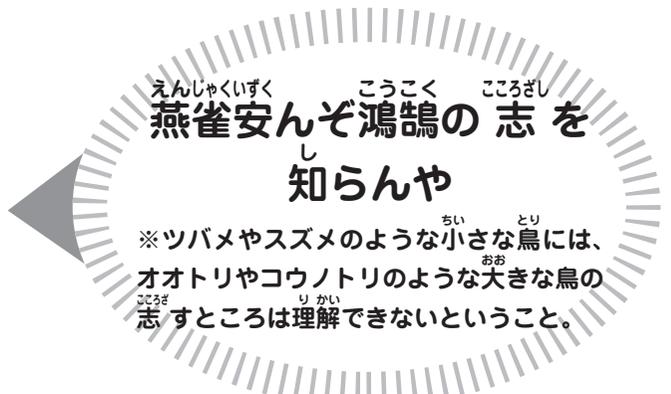
☆今月は「燕」のいろいろなひょうげんを楽しみました。

※行書は点や画をつづけて筆を運びます。  
美しく速く書きやすい書体(漢字の姿)です。

(およそ五百年まえの字)



祝允明(明の草書)



燕雀安んぞ鴻鵠の志をし  
知らんや

※ツバメやスズメのような小さな鳥には、  
オオトリやコウノトリのような大きな鳥の  
志すところは理解できないということ。

※草書は点画をかたんに略して書きます。  
昔の人は手紙をサラサラ草書で書いています。

中国の古代王朝名: 夏・殷・周・秦・漢

夏・殷・周の三つの王朝を三代ともいいます。

# 「好きなこと」

本会参与 中村 城翠

昔から伝わることわざに「好きこそ物の上手なれ」という言葉があります。何でも好きでがんばっていると自然と上達する、という意味です。私は昭和十三年（一九三八）生まれ、国民学校と呼ばれた今の小学校で一年生から習字の授業がありました。戦争中で物が無い時代だったので練習は新聞紙で、先生が配るたった二枚の白い半紙で清書して提出します。良い作品は皆が集まる運動場に貼り出されます。毎回習字は貼り出されてとてもうれしかったです。そのうれしさで中学校では習字クラブに入り、高校でも書道を沢山勉強し、大学では「不二誌」生みの親、石橋犀水先生に習い、高校の書道の先生になり、今でも不二誌を使い教えています。

好きなものを一生懸命続けなければ必ず上達します。皆さんも習字はもちろん、好きなことをがんばって続けましょう。きっと良いことがありますよ。

（書家 新潟県書道協会顧問）

## 目次

◇ かんじのひょうげん……………	表 2
◇ 巻頭言／目次……………	2
◇ 今月の課題 半紙幼年・一年生 ……	3
半紙二年生 ……	4
半紙三年生 ……	5
硬筆幼・一年生 ……	6
硬筆二・三年生 ……	7
条幅幼・一二年生 ……	8
条幅三年生 ……	9
◇ 手本のならいかた……………	10
◇ 最優秀作品……………	18
◇ 優秀作品……………	20
◇ 令和二年度優秀教場・教室長一覽……………	29
◇ 四月月例競書成績表……………	30
◇ みんなのこえ……………	41
◇ 千字文大会出品要項……………	42
◇ 令和三年度事業計画……………	45
◇ 令和三年度人事報告……………	46
◇ 昇段試験出品のきまり……………	50
◇ 編入試験受験案内……………	52
◇ 競書出品のしかた……………	54
◇ 硬筆用紙幼・二年生……………	55
◇ 硬筆用紙三年生／ヨーコちゃん……………	56
◇ 出品券／課題予告／あとがき……………	58
◇ 不二誌案内……………	表 3
表紙画 滝沢具幸「野のうた」	
表紙デザイン 石橋 應和	

しめきり厳守 【今月の出品期間 5月31日(月)～6月7日(月)】

7月号(5月31日～6月2日発送)発表の段級を6月出品の作品に書いて出品してください。

段級検索 I Dのご案内は 30 ページをご覧ください。

◎教室長の方には、実力向上のためにも一般版の購読をお勧めいたします。

1級からご出品の方は、段位取得のため昇段試験受験料がかかります。詳しくは50ページの昇段試験出品のきまりをご覧ください。

はん しょうねん  
〔半紙幼年・1年生〕

六段～1級＝昇段試験課題  
七段・2級～10級＝月例課題

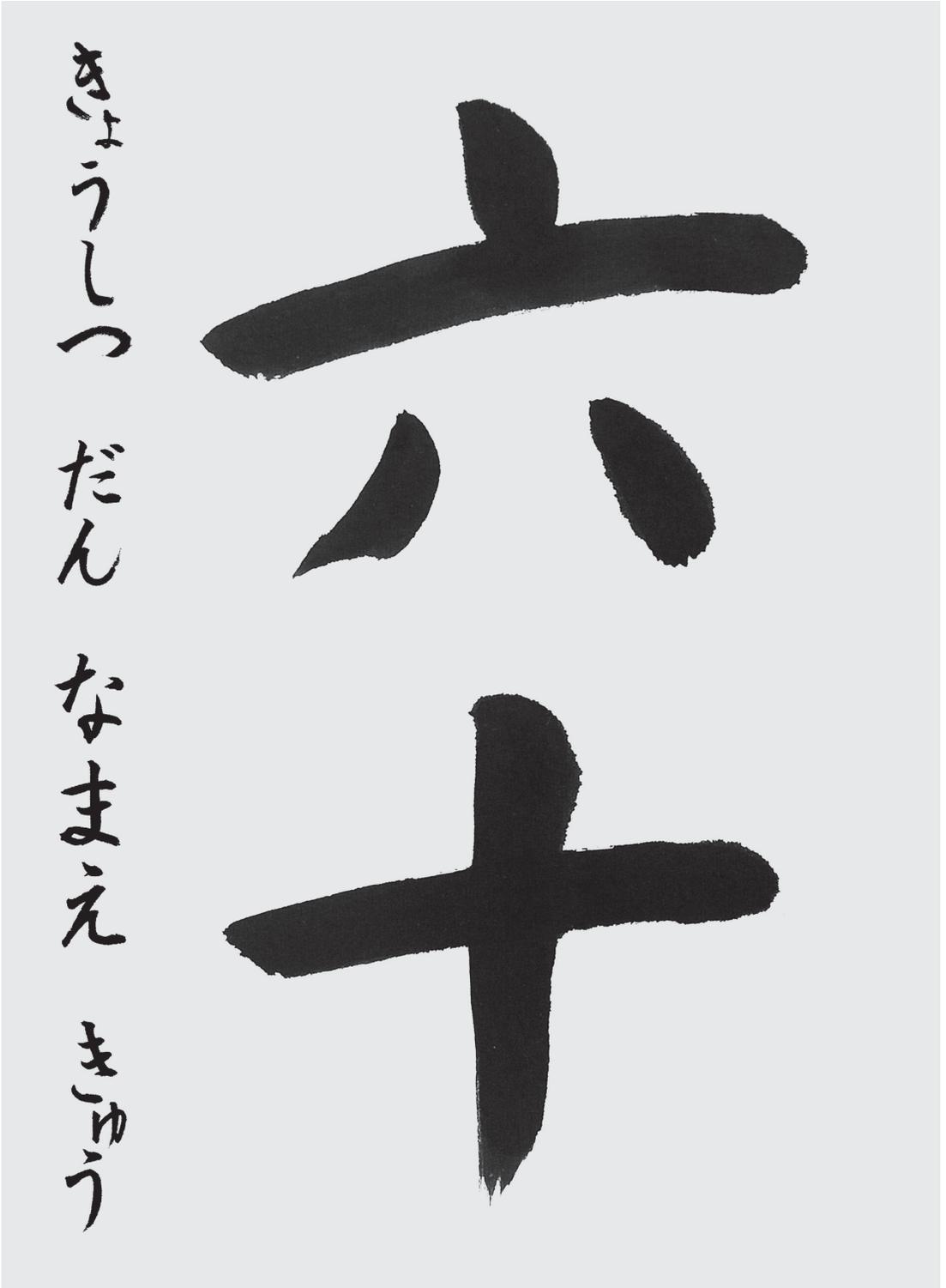
こく ぼれい せき  
小久保嶺石先生書

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字(初・二…七)で記入

☆級は黒の算用数字(1・2…10)で記入

☆出品券をはる



六  
十

(手本のならかたは10ページ)

☆はじめて出品するときは、このなかの一字だけを  
かいても出せません。一字だけを出品する場合は、「幼  
年・一年」と学年を出品券横に明記してください。

☆なまえは、かけるひとは漢字でかきましょう。  
☆なまえもさくひんのいちぶです。  
ていねいにかきましょう。

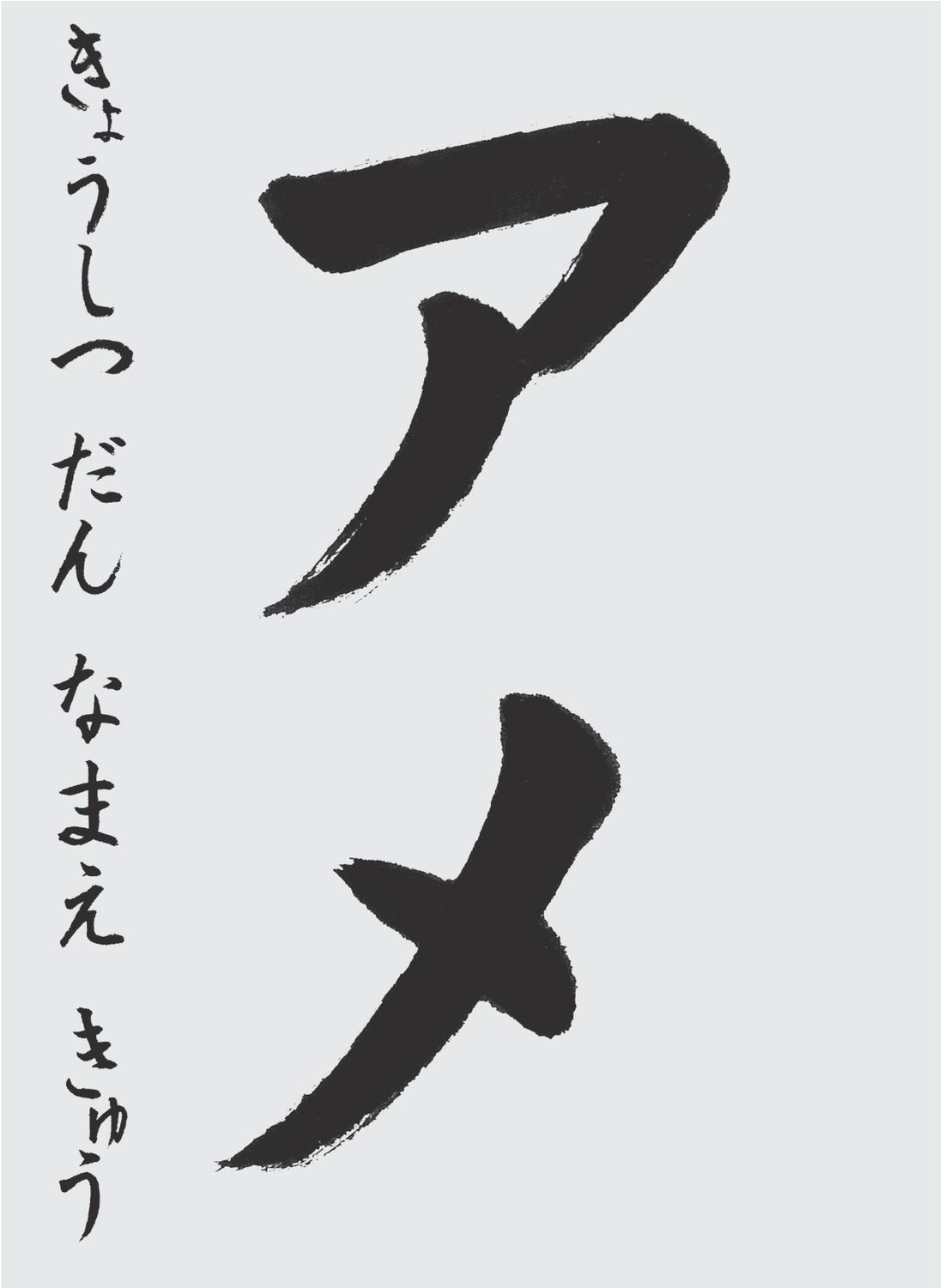
1級でご出品の方は、段位取得のため昇段試験受験料がかかります。詳しくは50ページの昇段試験出品のきまりをご覧ください。

はん し  
〔半紙 2年生〕

六段～1級＝昇段試験課題  
七段・2級～10級＝月例課題

こく ぼ れい せき  
小久保嶺石先生書

ア  
メ



☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字（初・二…七）で記入

☆級は黒の算用数字（1・2…10）で記入

☆出品券をはる

（手本のならいかたは10ページ）

☆はじめて出品するときは、このなかの一字だけを  
かいても出せません。一字だけを出品する場合は、  
「二年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆なまえは、かけるひとは漢字でかきましょう。  
☆なまえもさくひんのいちぶです。  
ていねいにかきましょう。

1級でご出品の方は、段位取得のため昇段試験受験料がかかります。詳しくは50ページの昇段試験出品のきまりをご覧ください。

はん し  
〔半紙 3年生〕

六段～1級＝昇段試験課題  
七段・2級～10級＝月例課題

こく ぼ れい せき  
小久保嶺石先生書

ほし  
ぞら  
星空

教室

段

名

前

級

日  
星  
空

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字(初・二…七)で記入

☆級は黒の算用数字(1・2…10)で記入

☆出品券をはる

(手本のならいかたは11ページ)

☆はじめて出品するときは、この中の一字だけを書いて出せます。一字だけを出品する場合は、「三年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆名前はなるべく漢字で書きましょう。  
☆名前もさくひんのいちぶです。ていねいに書きましょう。

〔硬筆幼年〕

六段〜1級Ⅱ昇段試験課題 七段・2級〜10級Ⅱ月例課題

（手本のならいかたは12ページ）

あ	の
ま	き
や	さ
ど	き
り	

あじさい カエル

★用具は鉛筆（またはフェルトペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。

依田蘭香先生書

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

★清書では消しゴムを使用しません。

〔硬筆一年生〕

六段〜1級Ⅱ昇段試験課題 七段・2級〜10級Ⅱ月例課題

（手本のならいかたは13ページ）

あ	の
ま	き
や	さ
ど	き
り	

のきさき あまやどり

★用具は鉛筆（またはフェルトペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。

依田蘭香先生書

★清書では消しゴムを使用しません。

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

☆名前、かける人は漢字でかきましょう。課題と同じようにていねいにかきましょう。  
 ☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

〔硬筆二年生〕

六段〜1級Ⅱ昇段試験課題 七段・2級〜10級Ⅱ月例課題

（手本のならいかたは14ページ）

	水	た					
	た	い					
		よ					
		う					
				の			
						光	

水たまり たいようの光

★用具は鉛筆（またはフェルトペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。

荒谷由美子先生書

★清書では消しゴムを使用しません。

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

〔硬筆三年生〕

六段〜1級Ⅱ昇段試験課題 七段・2級〜10級Ⅱ月例課題

（手本のならいかたは15ページ）

	空	に	大	き	な	に	じ
	か		か				が
	か		か				た

空に大きなにじがかかった

★用具は鉛筆（またはフェルトペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。荒谷由美子先生書

★清書では消しゴムを使用しません。

☆名前は、なるべく漢字で書きましょう。課題と同じようにていねいに書くようにしましょう。  
 ☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

じょうふく  
〔条幅2年生〕 小久保嶺石先生書

じょうふくよう  
〔条幅幼・1年生〕 小久保嶺石先生書

教室名

段(赤の漢数字)

名前

級(黒の算用数字)



しゅっぴんけん  
出品券をはる

ひ  
か  
り

教室名

段(赤の漢数字)

名前

級(黒の算用数字)



しゅっぴんけん  
出品券をはる

イ  
ル  
カ

★条幅の大きさはたて68cm×よこ23cm(全紙6分の1)です。

【お願い】 条幅作品でも、半紙作品と同様に、「教室名、段(赤の漢数字)、名前、級(黒の算用数字)」を書いてください。

# 学習のポイント

- 教室名

段(赤の漢数字)

名前

級(黒の算用数字)
- 条幅作品では、いきおいを出すため、筆づかいを工夫して書きましょう。筆の鋒の弾力(バネ)を使つて、のびのびと。
- 書き終わったら、少しはなれて、字の大きさや線の太さがよいか見ましよう。
- 名前はしあげです。全体を見て入れましよう。

じょうふく [条幅3年生] こくほれいせき 小久保嶺石先生書



父の  
日

★段は赤の漢数字(初・二・三・七)、級は黒の算用数字(1・2・10)で記入。

しゅっぴんけん  
出品券をはる

(手本のならいかたは16ページ)



◆双鉤法  
ふでのもちかた

人さしゆび、中ゆびの2本をふでのじくにかけてもつもちかた。

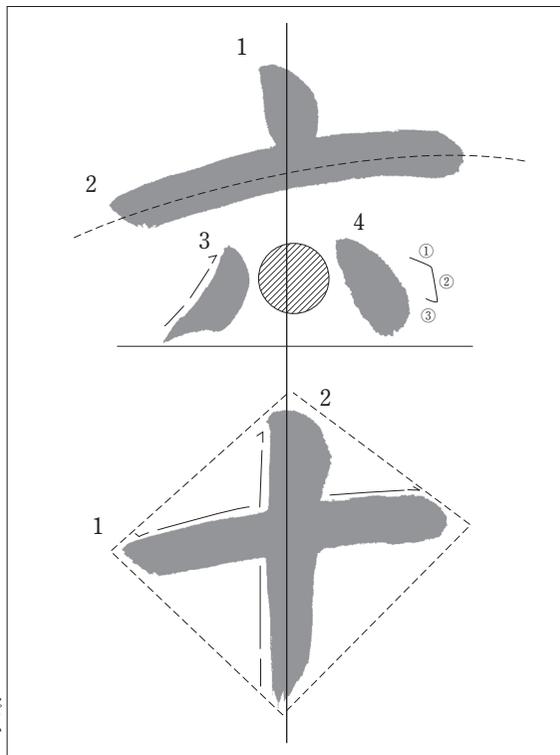
紙面から手首を離して、筆管は第二関節に副えます。  
手首を柔らかくして、指には力を入れずに軽く持ちます。  
腕を開いた分だけ腕を上げ、手首と指を少し内側にまわした型で筆を持ちます。

これは運筆のときの筆と手指、腕の状態を示しているのではありません。ご注意ください！

ここに  
ちゅうい 幼・1年

ねらい  
★姿勢の確認。(上の字を書く時は半紙を手前にひく)  
★起筆、送筆、収筆を学ぶ。

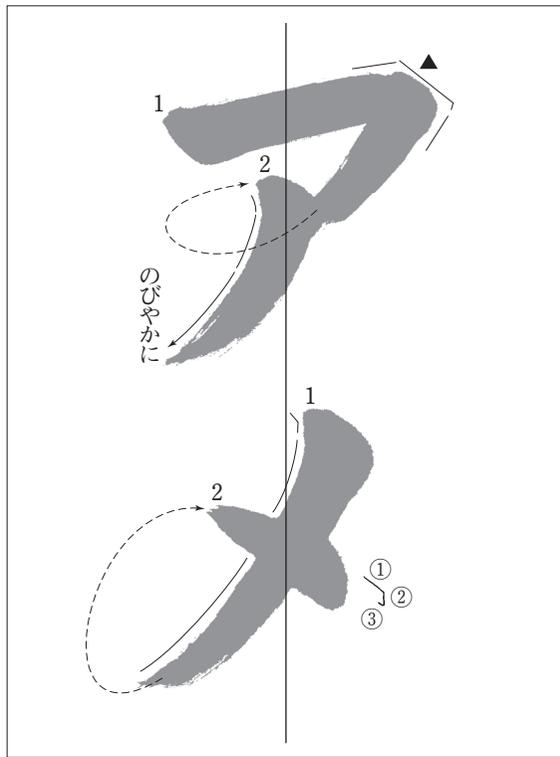
学習のポイント  
六：一かくめで中心をとらえ、二かくめはやや下そりに。四かくめは①②③のリズムで筆を運ぶ。  
十：ひし型をイメージして、一かくめは体を左右に、二かくめは体を前後に動かすように、体を使って書く。



ここに  
ちゅうい 2年

ねらい  
★半紙二字書き課題。  
★ななめの線の練習。

学習のポイント  
ア：一画めの転折(折れ)の角度と方向に気をつける。  
二画めはのびやかにほらう。  
メ：一画めは左ななめにひきはらう。二画めは①②③のリズムで力強く。

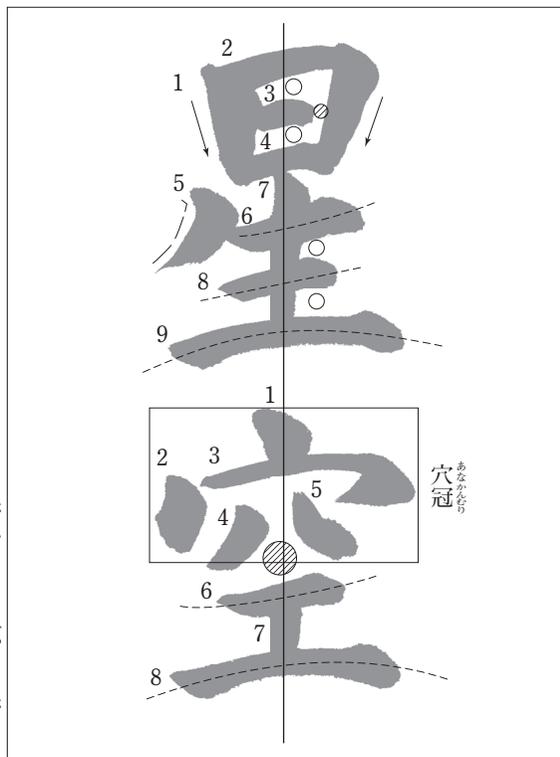


ここに  
ちゅうい 3年

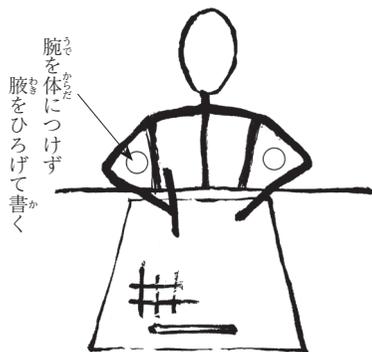
ねらい  
★漢字二字を半紙にバランスよくおさめる。  
★姿勢の確認。(上の字を書く時は半紙を手前にひく)

学習のポイント  
星: 「日」と「生」の組み合わせ。「日」がしつかりとささえるように。横画の長さやそりのちがいに気をつける。

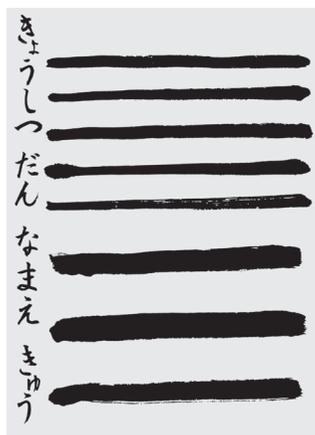
空: 「ム」「ル」「エ」の組み合わせ。ゆったり大らかに筆を運び、空間の取り方にも注意する。



【前から見た構え】 【書くときの姿勢】



- 両腕をはって体で書く  
(下腹に力を入れて体を前後左右に動かせるように)
- 机との間にゲンコツ1つ、背もたれとの間にゲンコツ2つから3つ
- 両足は少し開いてつま先を床につける。
- おしりを突き出すように座る。



課題を書く前の準備運動に「横棒」を書いてみましょう。  
書道を始めたばかりの方は「横棒」を書いての出品も可とします。  
出品券横に必ず学年を明記して下さい。

あける		あける	
	カ		あ
	エ		じ
	ル		サ
			い

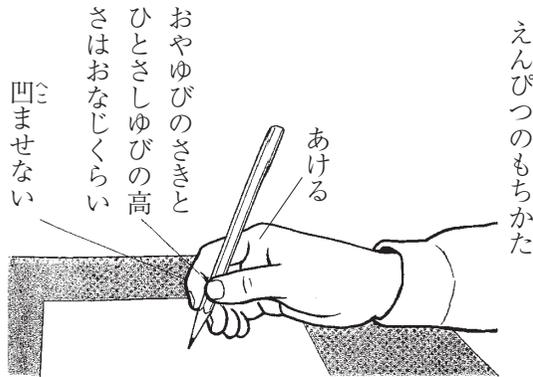
× ル ↑ ひらがなの「し」  
のようにまるくしない

▲ とめてほうこうをかえる

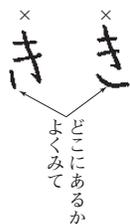
◎ あき(あき)に注意

※ 中心(ちゅうしん)の線(せん)は下(した)じきに入れて書きましよう。

依田蘭香先生書



あける		あける	
	あ		の
	ま		ま
	や		や
	と		ま
	り		



▲ とめてほうこうをかえる

● あきにご注意

※中心の線は下じきに入れて書きましよう。

依田蘭香先生書



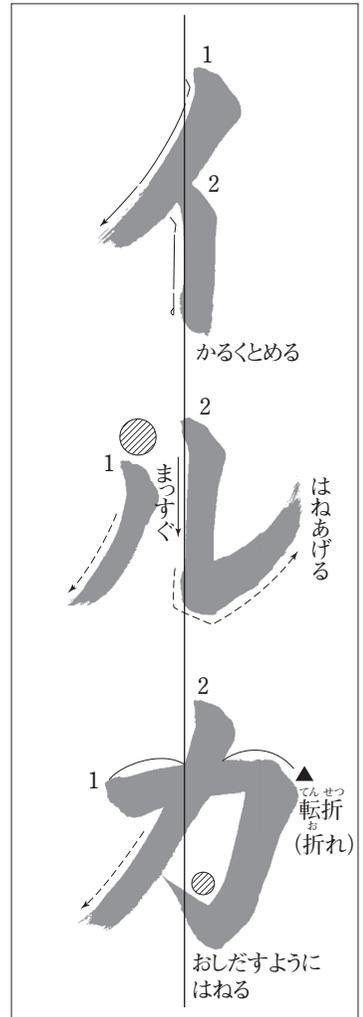
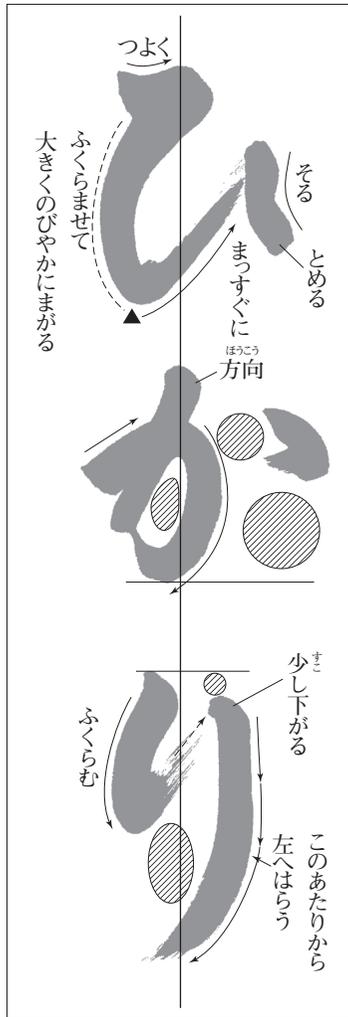
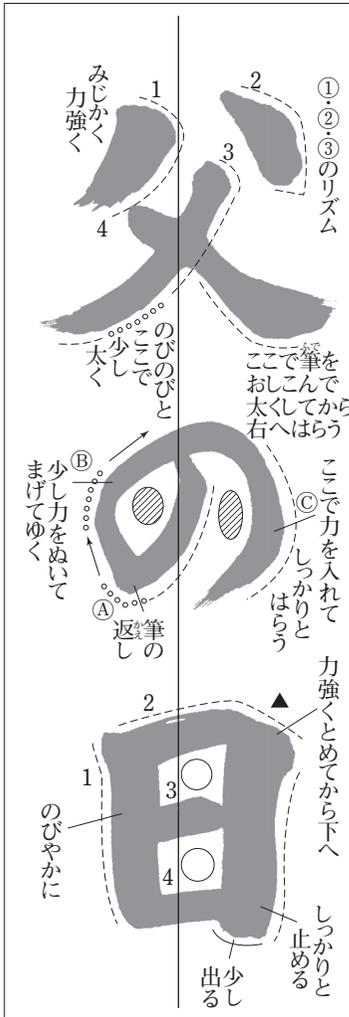


# てほん 手本のならいかた / しょう ふう 条 幅

こくほれいせき 小久保嶺石先生書

こくほれいせき 小久保嶺石先生書

こくほれいせき 小久保嶺石先生書



【お願い】条幅作品でも、「教室、段（赤の漢数字）、氏名、級（黒の算用数字）」を書いてください。

▲止めて方向を変える  
●あきけに注意

## ここに 3 年生

## ここに 2 年生

## ここに 幼 1 年生

ねらい  
★長いはらいと短いはらいの練習。  
★筆の返しを学ぶ。  
★たて画と転折(折れ)の練習。  
父…一・二画めのはらいと点はそれぞれ力強く。  
三・四画めのはらいに、力強くはらう。  
の…A・B・Cの筆の返し、回転の筆の使い方を習う。ただ「ぐるっと」書かないようにする。  
日…一・二画めのはらいは太く力強く。三・四画めのはらいはしつかりとひく。

ねらい  
★まがりの練習。  
★三字のまとまり。  
ひ…書き出しはみじかく、力強く。左へのふくらみと大きなまがりをつけ、▲印のところから右上へ、まっすぐの気持ちで筆をひき上げる。最後の画は少しそる。  
か…一画めは右上がりに、まがり力強く。二画めはななめに、三画めもしつかりと。  
り…左右のふくらみと長さに注意する。

ねらい  
★はらい、はねの練習。  
★力強い線を習う。  
イ…一かくめは左へしつかりとはらう。二かくめは力強く下へひき、かるととめる。  
ル…一かくめは左へ。二かくめは、まっすぐ下にひきおろしてから、右上がりに力強くはね上げる。  
カ…一かくめの力強い折れ。二かくめの左はらいをのびやかに。

月刊書道誌

不二

いつでも、どこでも、だれでも！  
年齢、習熟度に応じて学べます。

「不二」は、伝統に立脚し、流派を超えた書道教育の振興をめざす日本書道教育学会が1950年から毎月発行し続け、創刊71年を迎えた書道学習誌です。また「不二」は全国約2000の書道塾及び20ヶ国を超える海外不二教室でも用いられています。

不二誌の  
仲間

子供から成人まで各段階ごとに編集されており、体系的な学習が可能です。  
ご家族そろって不二誌での学習をはじめませんか。

一般版



純正書道修練の競書誌。手本ごとに丁寧な筆法解説が添えられ、学習にも指導にも最適。出典・作者・内容に触れ、書法と同時に書史を学べます。書論・書道史の読み物も充実。

中高版



教育書道の競書誌。楽しく読みながら、書の実技・鑑賞・理論が学べます。手本は丁寧な筆法解説に加え、出典・作者・内容も紹介。

小学上級版



教育書道の競書誌。筆順から筆づかい、文字の組合せ方まで丁寧に解説。星座のお話などの読み物もあり、自然に書に親しめます。

小学初級版



教育書道の競書誌。筆順から筆づかい、文字の組合せ方まで丁寧に解説。文字のなりたちや日本の言葉を知る楽しいページも掲載。

ぺんの力



硬筆専門誌。毛筆をもととした硬筆を学び、実用に活かす。写経・つけペン・筆ペン・ボールペン等多様な課題が学べます。

会誌名	対象	単価
不二一般版	大学生・一般	800円
不二中高版	中学生・高校生	600円
不二小学上級版	小学4、5、6年生	550円
不二小学初級版	小学1、2、3年生	550円
ぺんの力	大学生・一般	700円

(送料・消費税込み)

「不二」誌六月号の目次から

—「不二」誌各版の記事をご紹介します—

【一般版】

・巻頭言……………福岡 信

【中高版】

・巻頭言……………永井 香樹  
・日常の文字を書こう！

【上級版】

・巻頭言……………小泉 重義  
・星座と神話の世界「へびつかい座」

【初級版】

・巻頭言……………中村 城翠  
・かんじのひょうげん「燕」

【ぺんの力】

・巻頭言……………土居 征夫  
・美しいペン字を学ぶ・鷹見芝香書  
「漢字・かなの基本②」

見本誌  
無料贈呈

請求先  
お問い合わせ先

〒101-8358 東京都千代田区西神田2-2-3 電話 03(3234)3918  
「公益財団法人 日本書道教育学会 会誌係」 FAX 03(3234)3548

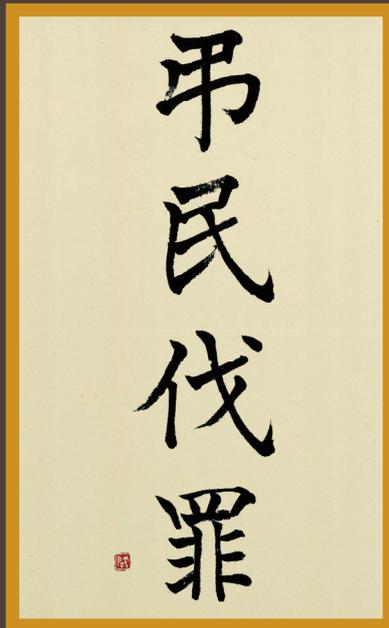
昭和三十一年五月十五日第三種郵便物認可 毎月一回一日発行 定価五五〇円  
 令和三年五月二十五日印刷 令和三年八月一日発行 第六十六巻第六号 通巻第七七七号

不二  
 小学初級版

作品募集

出品期間：2021年7月12日(月)～16日(金)

# 第43回 毛筆・ペン・篆刻作品展 全国公募 千字文大会



石橋厚水 楷書千字文より

■部門

〔毛筆〕 幼年・小学生の部・中学生の部・高校生の部・一般の部  
 〔硬筆〕 幼年・小学生の部・中学生の部・高校生の部・一般の部  
 〔篆刻〕 一般の部のみ

■展示期間

2021年9月25日(土)～27日(月)

■展示会場

日本書道藝術専門学校(第1会場)  
 東洋文化不二研修所(第2会場)

出品料	毛筆			篆刻	硬筆
	各半紙	各条幅	全臨		
小・中学生	700円	—	—	—	500円
高校生	800円	1200円	2500円	—	600円
一般	1200円	2000円	3000円	1200円	1200円

◆主催◆

学校法人 日本書道藝術専門学校・公益財団法人 日本書道教育学会

◆後援◆

文化庁・静岡県・静岡県教育委員会・伊東市・伊東市教育委員会  
 伊東市文化協会・静岡新聞社・静岡放送・伊豆新聞本社

※出品要項は本誌42ページをご覧ください。

〈日本書道藝術専門学校 千字文大会事務局〉

〒414-0051 伊東市吉田1022 TEL (0557) 45-4194 FAX (0557) 45-3256

<http://www.nihonshodou.ac.jp/>

ふじきょうしつ	ねん	なん	くみ
だんきゆう	なまえ	なまえ	なまえ
はんし			
こうひつ			
じょうふく			